令和４年度　安曇野市福祉有償運送運営協議会　会議概要附属機関等の名称　会議概要

|  |
| --- |
| １　審議会名　　　第１回（令和４年度第1回）安曇野市福祉有償運送運営協議会  ２　日　　時　　　令和５年２月22日　午前　11時15分から正午まで  ３　会　　場　　　安曇野市豊科交流学習センター　第２会議室  ４　出 席 者　　　黒木委員、布山委員、丸山委員、耳塚委員、小岩井委員、大平委員  　　　　　　　　　畑委員、中川委員（代理）、  ５　担当課出席者　鳥羽福祉部長、丸山高齢者介護課長、熊井長寿福祉係長、水谷主査  ６　公開・非公開の別　公開  ７　傍聴人　　0人　　　　記者　　0人  ８　会議概要作成年月日　　　　　　　令和５年２月27日 |
| 協　　議　　事　　項　　等 |
| 【会議概要】  １　開　　会（事務局）  ２　会長あいさつ  　３　自己紹介  　４　副会長選任  　　　協議会設置要綱第３条第３項の規定により布山委員を副会長に選任した。  　５　報告及び協議事項  (１) 安曇野市社会福祉協議会  ・定期報告（会員及び運行管理の現況、保険の更新、苦情処理状況等）  (２)ＪＡあづみくらしの助け合いネットワークあんしん  ・定期報告（会員及び運行管理の現況、保険の更新、苦情処理状況等）  ６　そ の 他  ７　閉　　会（事務局）  【報告及び協議事項】  （１）安曇野市社会福祉協議会  ①定期報告（会員及び運行管理の状況、苦情処理等）  変更や苦情等なし、事業者より説明  　②質疑  （委　員）苦情等なしということだが、大きな事故等もないか。  （事業者）ありませんでした。  （委　員）運行管理の責任者について、昨年９月末に施行令の改正があり、今までは５台以上の車を有する事業所は安全運行管理者の選任が必要となっていたが、今後は運行管理者等指導講習の一般講習を新たに受講する必要がある。次回更新までには、講習を受けること。詳しくは長野県交通政策課または自動車事故対策機構NASVA（ナスバ）のホームページ等で確認のこと。 |
| （委　員）コロナウイルス感染症対策による、利用者の増減や需要の変化について伺いたい。また、利用者数よりも登録自家用車台数が多いが、何か特別な理由があるか。  （事業者）利用者数は年々減少している。前回の報告から利用回数は減ったが、コロナの影響ではなく通院目的で利用していた利用者が、送迎付きの病院に移ったことが大きな要因と思われる。  （２）ＪＡあづみくらしの助け合いネットワークあんしん  ①定期報告（会員及び運行管理の状況、苦情処理等）  変更や苦情等なし、事業者より説明  ②質疑  （委　員）苦情等なしということだが、大きな事故等もないか。  （事業者）ありませんでした。  （委　員）今回の資料を確認すると、長野県への事業更新時の書類提出時期と、持込車両契約の更新時期と重複する。しかし、この４月１日の契約時期で運行しているとのことなので、長野県への提出書類については今後、県と事業所とで直接調整をすること。  （委　員）運転者の持込車両を使っているので、車体表示のマグネットを付けることを忘れないでいただきたい。  （事業者）忘れずに気を付けています。  （委　員）福祉有償運送を始めた当初は利用者数が多かったが、現在の利用者数は２名である。福祉有償運送以外の運送サービス、例えばデマンド交通（あづみん）を利用している利用者はいるか。  （事業者）利用者は当初、デマンド交通が使えるか不安であったため、福祉有償運送の利用者登録を行ったと聞いている。現在は、デマンド交通がより身近になったことに加え、福祉有償運送のための利用登録に時間がかかる。また、タクシーとヘルパーを勧めることもある。  （委　員）新規利用者が増えない理由のひとつにデマンド交通があると思う。規模を拡大するにもドライバーの確保といった課題があると思うが、いかがか。  （事業者）ドライバーは講習を受け、さらに他の業務もあり負担が大きいことに加え、コンスタントに利用があるとは限らないので規模拡大は難しい。現在の利用がなくなれば運行の継続は困難と考えている。  （委　員）福祉有償運送を始めた当初は、タクシー業界への圧迫が危ぶまれたが、現在は時代の変化もあり、利用者の使い分けができている。ぜひ頑張って、運行を継続させてほしい。  （事業者）地域で共助をする姿も見受けられるため、福祉有償運送自体の有無を問われる時代となった。  （委　員）デマンド交通の車掌が介助をするという案が出ている。介助者の状況を伺いたい。  （事業者）病院内まで同行するのが介助なので、現況では介助ができる職員が車掌をすることと、一般利用の両立は難しいと思う。 |